

陸奥公園の維持に役立てて



岩国基地モーターサイクルクラブが5月11日、陸奥公園の維持管理に役立ててほしいと、寄付金を町長に贈呈しました。これは、5月15日、16日に伊保田で開催されたバイクの愛好家の集まり「大島ミーティング」で、チャリティーとして集められたものです。このイベントは今年で3回目です。約250台のハーレーや自動車が集い、交流を行っています。大島庁舎を訪れた代表者のレン・ティピットさんをはじめメンバー5名は、「周防大島はどこを走ってもナイスロケーション。愛好家たちはみな大島を走るのを楽しんでいます。募金や交流で地域の役に立てれば。」と話していました。

大島中学校に 教育機器を寄付

5月15日、國元實さん（東屋代）から大島中学校へ教育機器一式が寄贈されました。今年一月に亡くなった國元さんの息子さんが中学校時代に心臓の手術をした際、学校の先生や同級生に大変お世話になったことに感謝の気持ちを込めて、大島中学校の教育に役立ててほしいと寄付をされたものです。

パソコン、ビデオカメラ、電子ピアノなど7点の機器が寄贈され、生徒の学習や生徒会活動などに活用されます。



土砂災害を防ぐ

と題して「過去数年で最も土砂災害発生の危険性が高まっています。」とテレビやラジオから伝わって来たときは避難をするなど被害に遭わないよう十分に注意してください。

昨年の7月に発生した土砂災害では、町内各所で国道、県道等が通行止めになるなど日常生活に不便を強いられた方もおられます。昨年7月3日の大雨は安下庄観測所で1日降雨量332mmと過去の観測記録を更新するなど、局地的にまとまった雨が降る状況が見受けられます。

災害が起きないかと思つた時が避難準備の開始時期です。今回配布されます「防災ガイドブック」を参考に早めの避難に心がけてください。

周防大島町では、地域防災計画を策定し、地域ごとの避難所を指定しています。災害時の避難所を事前に確認しておくことも必要です。避難所につきましては総務課、各総合支所にお問い合わせください。

梅雨の時期になりましたが、家の周囲は大丈夫でしょうか。

土砂災害は、いったん発生すると大きな被害を引き起こします。災害の前兆や気象情報に注意を払いたいものです。

崖崩れでは、◎崖から水が湧き出ている。◎崖に亀裂ができる。◎崖から小石が落ちてくる。などの前兆が見受けられます。

気象庁では大雨・洪水等に関する情報を出していますが、特に大雨警報が発表されているとき「重要変更」